

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和2年3月19日(2020.3.19)

【公表番号】特表2019-506869(P2019-506869A)

【公表日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-010

【出願番号】特願2018-541357(P2018-541357)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/62	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/30	(2006.01)
C 0 7 K	16/28	(2006.01)
C 0 7 K	14/46	(2006.01)
C 1 2 N	15/115	(2010.01)
C 0 7 K	16/46	(2006.01)
C 0 7 K	14/56	(2006.01)
C 0 7 K	14/545	(2006.01)
C 0 7 K	14/525	(2006.01)
C 1 2 N	15/25	(2006.01)
C 1 2 N	15/28	(2006.01)
C 1 2 N	15/21	(2006.01)
C 1 2 N	15/13	(2006.01)
C 1 2 N	15/10	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/62	(2017.01)
A 6 1 K	47/68	(2017.01)
A 6 1 K	47/65	(2017.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	38/16	(2006.01)
A 6 1 K	38/20	(2006.01)
A 6 1 K	38/21	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	3/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/10	(2006.01)
A 6 1 P	19/08	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)

A 6 1 P 1/02 (2006.01)
 A 6 1 P 13/12 (2006.01)
 A 6 1 P 27/02 (2006.01)
 A 6 1 P 1/16 (2006.01)
 A 6 1 P 1/18 (2006.01)
 A 6 1 P 13/08 (2006.01)
 A 6 1 P 5/14 (2006.01)
 A 6 1 P 35/02 (2006.01)
 A 6 1 P 37/02 (2006.01)
 A 6 1 P 29/00 (2006.01)
 A 6 1 P 33/06 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/62 Z
 C 0 7 K 19/00 Z N A
 C 0 7 K 16/30
 C 0 7 K 16/28
 C 0 7 K 14/46
 C 1 2 N 15/115 Z
 C 0 7 K 16/46
 C 0 7 K 14/56
 C 0 7 K 14/545
 C 0 7 K 14/525
 C 1 2 N 15/25
 C 1 2 N 15/28
 C 1 2 N 15/21
 C 1 2 N 15/13
 C 1 2 N 15/10 2 0 0 Z
 C 1 2 N 1/15
 C 1 2 N 1/19
 C 1 2 N 1/21
 C 1 2 N 5/10
 A 6 1 K 47/62
 A 6 1 K 47/68
 A 6 1 K 47/65
 A 6 1 K 39/395 E
 A 6 1 K 39/395 T
 A 6 1 K 39/395 G
 A 6 1 K 39/395 U
 A 6 1 K 38/16
 A 6 1 K 38/20
 A 6 1 K 38/21
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 31/00
 A 6 1 P 37/04
 A 6 1 P 37/06
 A 6 1 P 9/00
 A 6 1 P 17/02
 A 6 1 P 9/10
 A 6 1 P 25/28
 A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 13/10
 A 6 1 P 19/08
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 P 15/00
 A 6 1 P 1/04
 A 6 1 P 1/00
 A 6 1 P 1/02
 A 6 1 P 13/12
 A 6 1 P 27/02
 A 6 1 P 1/16
 A 6 1 P 1/18
 A 6 1 P 13/08
 A 6 1 P 5/14
 A 6 1 P 35/02
 A 6 1 P 37/02
 A 6 1 P 29/00 1 0 1
 A 6 1 P 33/06

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 配列番号 3 3 6 と少なくとも 9 5 % の同一性を有するアミノ酸配列であって位置 1 4 4 ~ 1 5 4 に 1 つ以上の変異を有するアミノ酸配列を含む変異型ヒトインターフェロン 2 (I F N 2) である、修飾されたシグナル伝達物質と、

(b) 目的の第 1 の抗原または受容体に特異的に結合する認識ドメインを含む、第 1 の標的化部分と、

(c) 目的の第 2 の抗原または受容体に特異的に結合する認識ドメインを含む、第 2 の標的化部分と、

を含むキメラタンパク質であって、

前記変異型ヒト I F N 2 は、野生型ヒト I F N 2 と比較して、その受容体に対する親和性もしくは活性が低下しており、前記変異型ヒト I F N 2 の、その受容体に対する親和性もしくは活性の低下は、前記標的化部分の 1 つ以上によって回復可能である、キメラタンパク質。

【請求項 2】

前記認識ドメインが、単一ドメイン抗体、組換えの重鎖のみの抗体 (V H H)、ヒト化 V H H、ラクダ化 V H H、一本鎖抗体 (s c F v)、またはサメの重鎖のみの抗体 (V N A R) である、請求項 1 に記載のキメラタンパク質。

【請求項 3】

前記認識ドメインが、(a) 目的の前記抗原または受容体を機能的にモジュレートする、あるいは (b) 目的の前記抗原または受容体を機能的にモジュレートしない、請求項 1 または 2 に記載のキメラタンパク質。

【請求項 4】

目的の第 1 または第 2 の抗原または受容体が、C l e c 9 A (C - t y p e l e c t i n d o m a i n f a m i l y 9 m e m b e r A)、P D - L 1 (P r o g r

armed Death - Ligand 1)、CD8 (Cluster of Differentiation 8)、CD3 (Cluster of Differentiation 3)、CD20 (Cluster of Differentiation 20)、Sirp1 (Signal Regulatory Protein Alpha)、またはDNAM (DNA X Accessory Molecule)である、請求項1～3のいずれか1項に記載のキメラタンパク質。

【請求項5】

目的の第1の抗原または受容体がPD - L1であり、目的の第2の受容体がCD20、Clec9A、CD8、Sirp1、またはDNAMである、請求項4に記載のキメラタンパク質。

【請求項6】

前記ヒトIFN 2が、位置L153、R149、またはM148に1つ以上の変異を含む、請求項1～5のいずれか1項に記載のキメラタンパク質。

【請求項7】

前記第1の標的化部分が前記第2の標的化部分に連結されており、前記第2の標的化部分が前記修飾されたシグナル伝達物質に連結されている、請求項1に記載のキメラタンパク質。

【請求項8】

前記第1の標的化部分と前記第2の標的化部分の両方が、前記修飾されたシグナル伝達物質に連結されている、請求項1に記載のキメラタンパク質。

【請求項9】

目的の第1の抗原または受容体がClec9Aであり、目的の第2の抗原または受容体がCD20である、請求項1に記載のキメラタンパク質。

【請求項10】

目的の第1の抗原または受容体がPD - L1であり、目的の第2の抗原または受容体がClec9Aである、請求項1に記載のキメラタンパク質。

【請求項11】

目的の第1の抗原または受容体がCD20であり、目的の第2の抗原または受容体がCD3である、請求項1に記載のキメラタンパク質。

【請求項12】

前記変異がR149Aである、請求項6に記載のキメラタンパク質。

【請求項13】

前記変異がM148Aである、請求項6に記載のキメラタンパク質。

【請求項14】

前記変異がL153Aである、請求項6に記載のキメラタンパク質。

【請求項15】

癌の処置のための医薬の調製のための、請求項1～14のいずれか1項に記載のキメラタンパク質の使用。